

## 令和4年度決算及び令和6年度予算編成についての意見書

決算委員会に付託されました令和4年度決算に関する議案について、審査をする過程における各委員からの意見を委員会として次のとおり取りまとめましたので、来年度予算編成及び今後の事務事業の執行において反映されるよう要望します。

- 1 市税徴収率について、改善傾向にはあるものの、依然として県平均を下回る状況であるため、引き続き徴収の強化、適正な債権管理を要望する。
- 2 総務費 国際交流の推進について、本市独自の国際交流及び人材育成の視点から、これまで以上に積極的な政策の立案と予算配分を要望する。
- 3 民生費 子育て支援について、本市の出生数の減少、若年層の流出などを踏まえ、「子育てファーストのまちづくり」に向けて各種施策の拡充をはじめ、新規事業のファミリーサポートセンター事業、産後ケア事業を充実させるほか、病児保育事業など、市独自の新たな子育て支援の実施に努めること。また財源についても、「子ども未来基金」の充実と積極的な活用を要望する。併せて保育士不足対策、保育士の処遇改善に向け予算措置を検討されたい。
- 4 農林水産業費 農業振興について、基盤整備や廃プラスチック適正処理対策などを強化していくための関係予算の拡充を要望する。
- 5 商工費 観光ボランティア事業について、ボランティアの確保及び事業支援の強化に努めること。また、観光事業については、今後もアニメとのコラボ事業の積極的な推進など予算の拡充を要望する。
- 6 土木費 公共インフラ及び道路整備について、市民要望の多い市道、側溝の改良・新設について積極的な事業推進と、そのための適正な人員配置や予算配分を要望する。また、橋りょう・河川の整備事業についても国、県、関係各所と連携を取りながら、更なる推進を図り、安全・安心な市民生活の提供に努めることを要望する。

- 7 教育費 教育支援、教育環境の充実について、G I G Aスクール構想の推進に向けた子どもたちのICT教育の充実、部活動の地域移行に向けた取組、給食費の無償化の実現に努めること。また、教職員の働き方改革の推進を図るための人員配置や充実した教育現場のサポート体制の実現に向けての予算措置のほか、スポーツ協会等の各種団体への更なる支援を要望する。
- 8 介護保険事業について、各種申請等の事務処理において、不安を抱えている市民により親切で丁寧な応接を心がけていただきたい。また、介護職の慢性的な人材不足の解消及び介護認定の調査に係る期間を短縮するための予算措置を含む積極的な取組を要望する。
- 9 病院事業について、一般会計からの多額の人件費補てん交付金の支出は、予算的に他事業への影響もあると思われる。病院事業の経営改善を引き続き努力されるよう要望する。

令和5年10月4日

決算委員会委員長	石 上 允 康
決算委員会副委員長	工 藤 忠 男
決算委員会委員	埴 保
同	高 根 一 芳
同	宮 崎 光 子
同	石 上 友 寛
同	鎌 倉 金
同	石 神 嘉 明
同	釜 谷 藤 男